

次号予告

特集 / 整形外科的疾患から

股関節手術後の理学療法…………… 養育院付属病院 小沼正臣
 脊椎手術後の理学療法（その施行上の問題点）大阪大学病院 浅野達雄・他
 腕神経叢麻痺のリハビリテーション…………… 埼玉医大 近藤徹・他
 RAの整形外科的治療とリハビリテーション…………… 国立相模原病院 工藤洋

切断指再接着術とその後のリハビリテーション… 金沢大学 吉村光生

とびら 海外協力とリハビリテーション 国立善通寺病院リハビリ学院 土岩美幸

講座 作業療法概論 5. 作業療法における研究領域

（精神）…………… 日下部病院 富岡詔子
 （身障）…………… 国立療養所東京病院付属リハビリ学院 宮前珠子

反省させられた症例 高齢者における長期臥床患者の理学療法…………… 酒井喜代司・他

プロGRESS ……………… 兵庫リハビリセンター 澤村誠志
 ……………… 弘済学園 中村健二

リハビリテーション・インフォメーション＜茨城県＞…………… 日立総合病院 大内厚・他

＜愛媛県＞…………… 愛媛大学病院 大塚彰・他

養成校紹介 清恵会第2医療専門学院…………… 岡山 宏

高知医療学院…………… 嶋田智明

資料 第15回理学療法士・作業療法士国家試験問題一模範解答（VI）

編集後記

この号が皆様へ届く頃は冷夏のあとの秋ということになります。暑中見舞の交換も、山や海へ出かけた人の数も例年より少なかったとか。果して、その分貯金が増えたでしょうか。

今月号の特集は「小児の脊髄障害」です。陣内氏には原因を主体としてその実態について述べていただきました。ストークマンデビル病院では外傷、二分脊椎の順になっていて、こども医療センターでは二分脊椎が圧倒的に多いようです。君塚氏には医学的管理について述べていただきました。二分脊椎を中心に述べられていますが、その他の疾患的管理においても出生時、急性期を除いて大きな差はないとのことですので氏の述べておられることを基本にして管理すればよいでしょう。大塚氏には二分脊椎の神経系の障害についてさらに詳細に述べていただきました。二分脊椎の管理、理学療法を行うにあたり熟知しておくべき諸点ともおもえます。小嶋氏には理学療法につ

いて氏の長年の臨床経験に基づいて述べていただきました。小児の取扱い方のコツみたいなものが紙面ににじみ出ているのではないのでしょうか。また、小児の場合、両親への指導も重要な問題の一つといえましょう。小児の疾患ということになりますと、彼等がこれから進もうとする道程は長く、多難に満ちているといえます。和田氏には彼等の教育、家庭への復帰という面に触れていただきました。しかし、現状では彼等の“人生の流れ”を援助すべきシステムが十分に確立されてはいないようです。

研究論文で千住氏による万歩計を利用した慢性閉塞性肺疾患の運動耐容能の評価がありました。これはちょっとしたアイデアの活用であり、我々にとってこのような工夫が大切といえます。

金子氏にはOT概論シリーズとして、OTの対象と活動分野について述べていただきました。（奈良 勲）

＜編集顧問＞

天児民和
九州労災病院長

五味重春
埼玉県生活福祉部

砂原茂一
国立療養所東京病院名誉院長

津山直一
東京大学教授・整形外科

水野祥太郎
川崎リハビリ学院長
（五十音順、以下同じ）

＜編集委員＞

上田敏
東大リハビリ部

荻島秀男
リハビリテーションペ
イン（痛み）クリニッ
クわらび診療所

大喜多潤
兵庫県リハビリセンター

鈴木明子
（北海道庁）

寺山久美子
都心身障害者センター

富岡詔子
山梨日下部病院

奈良勲
金沢大学医療技術短大

福屋靖子
筑波大学

松村秩
都養育院リハビリ部

＜編集同人＞

大橋博

大丸幸

金子翼

鎌倉矩子

紀伊克昌

駒沢治夫

佐藤章

嶋田智明

高橋正明

武富由雄

谷岡淳

中屋久長

藤沢しげ子

松本妙子

丸谷隆明

矢谷令子

山下隆昭

和才嘉昭
（担当 細田・西塚）